

大島小 学校だより



島っ子だより

第17号 令和元年8月21日

文責 校長 藤瀬 安孝

8月9日 県民祈りの日の平和集会



今朝も、競い合うように元気に鳴く蝉の声を聞きながら、たくましく登校してきた子どもたちでした。

前回の登校日、8月9日には、長崎に落とされた原子爆弾や戦争のおそろしさを知り、これからも平和が続いていくことを願って、平和集会を行いました。集会では、校長からの話、原子爆弾を被ばくした子の物語の読み聞かせや代表児童4名の作文発表、歌と黙とうがありました。高学年・中学年・2年・1年から1名ずつ、事前に見たVTRや学級での学習をもとに、自分の平和への思いをそれぞれの言葉で発表しました。

その後、来年実施予定の修学旅行で、長崎の平和公園に献鶴する全校児童で作った千羽鶴を5年生児童へしっかりと手渡しました。

戦争の悲惨さや辛さをすべて理解することは難しいですが、平和の大切さやありがたさについて、一人一人がしっかりと確かめることができた集会でした。

夏休みも残り10日ほど・・・



長かった夏休みも4分の3が終わり、残すところ10日ほどとなりました。図書室前に植えたゴーヤ(ツル瓜)の苗が、二階のベランダまでツルを伸ばし、多くの実が育っています。暑い日差しを遮る、りっぱなグリーンカーテンです。

子どもたちも、夏休みの間に、それぞれに成長がみられたことでしょう。また、楽しい思い出もたくさんできたことでしょう。9月2日の始業式には、「宿題すませたよ！」という充実感をもって、全員の元気な顔がそろうことを、心から願っています。残りの夏休み、健康と安全に気を付けて、最後まで大切に楽しく過ごしてほしいと思います。